



土公集
全二冊



嘉性集

Handwritten text in vertical columns on the right page, including a title '嘉性集' and several lines of cursive script. The page is heavily stained and features horizontal yellowish-brown stripes.

木下性集

木下雪乃ふりかゝるをうらみし



一春はるは死しやみみの雪ゆきは

つらつらささたたららかかららななららずず

梅の花をばりて人のつらやると

二ふたつつりりににののああははれれししららううここしし梅の花

ああららぬぬああららははららりりててななららずず

寛平御時五哥合

三さんつつららみみててああららははららりりてて梅の花

ここししててににああららははららりりてて神かみ

梅の花をばりて人のつらやると

後撰

後撰

にありぬ

かこへきまゝにまゐりのしめ

うえてのえきをかりて

修撰

このまづちいせしむるあはせれん

修撰

つらいつしめしめ

前斎院のまゝに御りたりてまゝに

なせぬまゝの院にまゝにゆれしめ

つらいつしめしめ

なまにまゝにゆれしめ

しめしめしめしめ

おぼにてあんならにて住居らゆらぬ

おぼにてあんならにて住居らゆらぬ

まゝにまゝにゆれしめ

まゝにまゝにゆれしめ

二条にまゝにゆれしめ

ひらけしめしめしめ

ひらけしめしめしめ

まゝにまゝにゆれしめ

まゝにまゝにゆれしめ

泉大納言十景一紙

まゝにまゝにゆれしめ

つらいつしめしめ

つらいつしめしめ

梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

梅の香を思ふ
梅の香を思ふ
梅の香を思ふ

後撰

世に... 花に...

た... 花に...

う... 世に...

子... 世に...

小... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

あ... 世に...

やまはし
たもあつかりよみちりまらむ

天曆のさうりせむをて河内は國よす

ませむをて
ませむをて

川

後よちてせむをて

ませむをて

ませむをて

ませむをて

ませむをて

御屏ぬ

ませむをて

春よちて

ませむをて

老よちて

村風のさうり

ませむをて

ませむをて

ませむをて

ませむをて

ませむをて

